

あいのり

Monthly

2026.7.31

7月のマーケット概要

好調な米企業業績の一方で、金融市場の環境が悪化した1ヶ月でした。特に今まで株式市場の上昇を牽引していたA I関連を中心に日米及び韓国下落が目立ちました。主な原因としては、①休戦協議中だった対イラン紛争が実質再開し、原油価格が上昇、米ガソリン価格も4ドル台を再度超えてきたことで、インフレ懸念再燃、米長期金利も4.7%まで上昇してきたこと、②A I分野において、中国のA I企業のオープンモデルがコーディング評価で米国勢のモデルを抜いたことが話題となり、一部ハイパースケーラーのキャッシュフロー（営業利益－設備投資）が初めてマイナスになったことも重なり、データセンターへの巨額投資に対する将来の収益期待に懸念が出てきたこと、③6月に上場したスペースXが公募価格を下回り、今後の予定されているIPOに懸念が出てきたこと、④信用取引やレバレッジETFによる買いが膨らみ、株価の下落で強制決済を強いられ急落につながった、などです。

下旬に開催された米FOMCでは政策金利を3.50%～3.75%で据え置かれ、その後のウォーシュFRB議長の会見ではインフレの警戒を維持しつつ今後についてはデータ次第という慎重スタンスを貫いています。

為替については、6月に重要節目161.95円を上回って以降円安が続き163円台後半まで推移していましたが、月末に為替介入が入り、157円台で引けました。タイミングとして消費税減税について首相が表明したことや、日銀金融政策決定会合にて金利据え置き（実質政策金利のマイナス継続）の決定がされたことなどから更なる円安を止めたかったものと推察されます。今回は今年4月以来の介入ですが、28年ぶりの円買い日米協調介入であることを公にしたことから今回その効力が試されます。

弊社のファンドは、半導体、A I関連を中心とする調整はもう暫く続く可能性があると考え、6月末以降、リスク回避的なポジションを現状維持しています。尤も現状は、歴史的に好調な米企業業績の中での一時的な下落と考えており、引き続き今年後半の株式市場の調整は年末あるいは来年に向けての好機ととらえております。

月末の為替介入による円高は、ポートフォリオの約半分を外貨リスク資産が占めるため基準価額を押し下げることになりますが、必要に応じて為替ヘッジを行っていく予定です。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミキアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

(2026年8月3日)

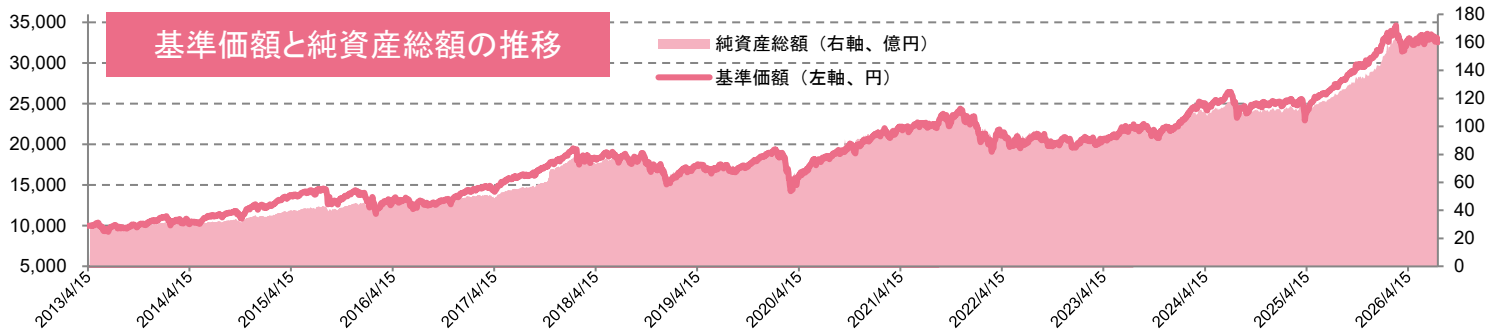
パリミキアセットマネジメント
取締役チーフインベストメントオフィサー
宇野 隆一郎



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

コドモファンド 変幻自在ずーっとおまかせ

基準価額と純資産総額の推移



期間別騰落率(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
-1.37%	0.38%	-3.41%	3.48%	19.77%	47.03%	45.52%	151.82%	225.75%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(13.70%)	(7.78%)	(9.66%)	(9.28%)

コドモファンド概況

基準価額	32,575円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	16,249百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	9.75%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド: 99.79% 現金等: 0.21% (合計: 100.00%)		

コドモファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年1.10%(税抜1.00%)

マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担: 年1.75±0.5% 程度(税込)

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド ※2025年9月1日設定

【7月の運用コメント】

基準価額は月間で▲1.28%となり、年初来で+4.15%となりました。

(1年リターン: 19.77%、ボラティリティ(1年): 9.75%、シャープレシオ: 1.93) ※コドモファンド

個別ファンドの騰落率については、上昇に寄与したのは、東欧株式ファンドのトリゴンが騰落率で+4.39%、日本株式のモーラントが同+3.57%、ニッポングロースが同+5.12%などでした。下落で影響したのは、日本株アクティブファンドのポリマー日本株式が騰落率▲6.99%、グローバルなストックピックを行うトリニティ・ストリートが▲5.54%などでした。

7月の売買は、購入ではETFなど微調整に留まり、一方、売却ではポリマー日本株式、コンウェーブ・メタルファンドやその他ETFを一部売却しました。キャッシュ比率は約18.56%(前月比+2.58%)となりました。

為替が、対ドルで約1.67円(▲1.03%)円高、対ユーロでは約0.23円(▲0.12%)円高へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.28%引き下げたこととなります。現状の外貨資産リスク(42%)に対する為替ヘッジ率(ユーロ円のみ)は、5%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは40%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	16,605百万円	組入ファンド数	全23本
-------	-----------	---------	------

資産構成比率

国別

国別	割合
日本	35.99%
アメリカ	15.22%
新興国	13.94%
欧州	11.22%
その他	3.12%
金	1.95%
現金など	18.56%

組入れファンド TOP10

ポリマー日本株式	11.33%
モーラント・ライト	10.48%
トリゴン	10.11%
Trinity Street	7.03%
チカラインディアン	4.66%
コムジェスト世界	4.50%
シンプレクス中計	4.05%
ニッポングロース	3.59%
Energy Select Sector SPDR ETF	2.99%
Invesco QQQ Trust Series 1	2.95%

組み入れファンドTOP5
基準価額の新月比

ポリマー日本株式	-6.99%
モーラント・ライト	3.57%
トリゴン	4.39%
Trinity Street	-5.54%
チカラインディアン	3.11%

浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【7月の運用コメント】

基準価額は月間で▲2.47%となり、年初来では+2.82%となりました。

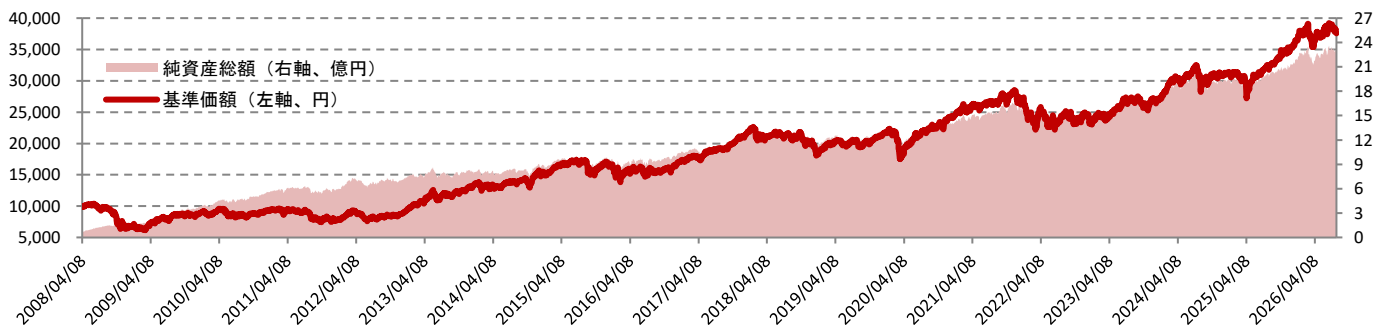
(1年リターン：16.10%、ボラティリティ（1年）：10.94%、シャープレシオ：1.38)

個別ファンドの騰落率について、上昇に寄与したファンドは、東欧株式のトリゴンが騰落率で+4.39%、コムジェスト世界株式が同+2.37%、ニッポングローブが同+5.12%などでした。下落の影響があったのは日本株アクティブファンドのポリマー日本株式が騰落率で▲6.99%、グローバルなストックピックを行うトリニティ・ストリートが同▲5.54%などでした。

7月中の売買は、購入では、エネルギー関連ETFなど微調整に留まり、一方、売却ではナスダック100のETFなどを一部売却しました。キャッシュ比率は10.53%（前月比+2.60%）となりました。

為替が、対ドルで約1.67円（▲1.03%）円高、対ユーロでは約0.23円（▲0.12%）円高へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.33%引き下げたこととなります。現状の外貨資産リスク（47%）に対する為替ヘッジ率（ユーロ円のみ）は9%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは43%です。

基準価額と純資産総額の推移



浪花おふくろファンド概況

基準価額	37,541円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,265百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	10.94%	決算日	毎年3月3日(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全19本)

国別	組入れファンド TOP10		組み入れファンドTOP5 基準価額の前期比	
現金など 10.53% 日本 39.99% アメリカ 19.66% 新興国 15.64% 欧州 10.34% その他 3.84%	ポリマー日本株式	14.51%	ポリマー日本株式	-6.99%
	シンプレクス中計	12.62%	シンプレクス中計	-2.78%
	トリゴン	11.92%	トリゴン	4.39%
	コムジェスト世界	7.01%	コムジェスト世界	2.37%
	Trinity Street	6.03%	Trinity Street	-5.54%
	ニッポングロース	3.48%		
	SBIジェイリバイブ	3.42%		
	コムジェストEU90	3.38%		
	コムジェストEM95	3.36%		
	N F 日経 2 2 5	3.23%		

期間別騰落率(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
-2.47%	0.58%	-0.68%	2.82%	16.10%	39.73%	42.30%	136.96%	275.41%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(11.79%)	(7.30%)	(9.00%)	(7.49%)

浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年0.99%(税抜0.90%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年1.65±0.5% 程度(税込)

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パブリックアセットマネジメント／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



意識が現実をつくる

先月のコラムでは「正解はひとつではない」というお話をしました。実は量子力学の世界で有名な二重スリット実験によれば、ミクロの世界の素粒子は、観測される前には定まった姿を持たず、さまざまな可能性が重なり合った状態にあります。そして観測者がどう関わるかによって、その姿は粒にも波にも変わるといいます。つまり、唯一絶対の客観的な現実が最初から存在するのではなく、観測する側の関わり方そのものが現実を決めているのです。

この構造を文学と映画で見事に描いたのが、芥川龍之介の『藪の中』と、それを原作とする黒澤明監督の映画『羅生門』です。ひとつの殺人事件をめぐる、盗賊、妻、死者の霊がそれぞれ異なる証言をします。どの証言も、語る本人にとっては確かな現実です。それぞれの利害や思いというフィルターを通して同じ出来事を見た瞬間、まったく異なる現実が立ち上がってしまいます。絶対的なひとつの現実はどこにもなく、見る人の数だけ世界が存在するのです。これはまさに、量子力学が示す観測問題と同じ構造だといえます。



1950年の映画『羅生門』の三船敏郎と京マチ子のプレス写真（Wikimediaより）

自分の内面が、現実の見え方を変える

人はそれぞれ、自分にとって都合のよい現実をつくり出してしまいうものです。けれども、自分の中にある認めたくない感情や思い込みに気づき、それも自分の一部として受け止められれば、こわばっていた現実の見え方は少しずつほぐれていきます。

量子力学では「万物はエネルギーの振動、つまり周波数でできている」と考えます。この考え方に基くと、自分自身の内側を恐れから調和へと整えることで、目の前に現れる現実そのものが変化していくと考えられます。外の世界を変えようとする前に、まず自分の内側のチューニングを見直すことが大切なのです。

受け入れと感謝が、世界を反転させる

もし意識が現実をつくるとしたら、一番おすすめなのは、起きることをそのまま受け入れ、感謝することです。映画『羅生門』の結末では、人々のエゴのぶつかり合いに絶望しかけていた旅人の前で、ひとりの木こりが捨て子を引き取るという善い行いを見せます。その瞬間、羅生門を覆っていた激しい雨が上がり、美しい夕日が差し込んできます。これは、木こりの意識が自分本位の思いから無条件の愛へと変わったことで、世界そのものが反転したことを象徴する場面だといえるでしょう。

私たちは日々、目の前の出来事に良い悪いの判断を下しがちです。しかし、その判断こそが、好ましくない現実ばかりを強く意識させ、固定化させてしまいます。すべての出来事を人生に必要なプロセスとしてそのまま受け入れ、今あるものに深く感謝する。この姿勢に切り替えた瞬間、内側の状態は不足から充足へと変わっていきます。

私たちは、マスメディアに登場する多くの「評論家」のように、未来に対する不安や恐れを指摘し、世の中に批判的な人こそ知的で意識レベルが高いと勘違いしがちです。しかし本当に意識レベルの高い人とは、未来の可能性を信じ、明るい兆しに目を向けることで世界をより良くしようとする人だと思います。私たちの意識が現実をつくり出すのです。自らの意識で、世界を、そして未来を、より豊かで明るいものにしていきたいですね。



(株)パリティホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄

「お客様サポートチームからのお知らせ」もぜひご活用ください



今回は、当レポート最終ページの「お客様サポートチームからのお知らせ」についてご紹介します。お手続きの締切日や交付書類など、お客様に関わる大切な情報を掲載しておりますので、お取引の際に、ぜひご活用ください。

ご案内している主な内容



毎月つみたてサービスのスケジュール

金額変更や中止の締切日など



交付書類や各種お手続きに関するご案内

- ・お取引に係る交付書類
- ・住所・連絡先のご変更など

💡 お手続きはお早めに

締切直前のお申し込みや郵送でのお手続きの場合、書類の配達状況などにより、ご希望のタイミングに間に合わない場合がございます。お時間に余裕をもってお手続きいただくと安心です。

🌱 書類交付の電子化にご協力をお願いいたします

電子交付サービスをお申込みいただきますと、最新の資産状況や取引結果等をマイページにてご確認ください。（お申込み：<https://pmam.co.jp/form/change/>）

※最終ページ例



セミナー登壇のご報告

7月24日（金）全国経営者セミナー

日本経営合理化協会主催「全国経営者セミナー」において、最終日の基調講演に弊社親会社であるパリミキホールディングスの代表取締役会長 多根幹雄が登壇しました。

講演では、弊社の運用哲学を支える「あいのり投資」や「ファミリーオフィス」、「マーケット・モメンタム・アロケーション」、「シャーププレシオ」について、自身の経験も踏まえてお話しいたしました。



浪花おふくろ20周年祝賀レセプションを開催いたしました

2026年7月26日（日）に浪花おふくろ20周年祝賀レセプションを開催いたしました。
おかげさまで多くの皆様にお集まりいただき、20周年の節目にふさわしい、大変盛況な会となりました。
皆様と楽しい時間を共有できましたことを、心より御礼申し上げます。



美味しいお食事とともに20周年をお祝い



開催会場のTHE LANDMARK SQUARE OSAKA

浪花おふくろ20周年キャンペーン

キャンペーン開催期間：2026年6月25日(木)～8月24日(月)

キャンペーン期間中に**対象商品の新規ご購入、追加ご購入をされた方に**
20周年記念オリジナルグッズをプレゼントいたします。

ご購入金額は問わずご参加
いただけるようになりました！



①オリジナルピン



本キャンペーンのためだけにご用意した、
丸メガネをモチーフにした限定デザインです。

②「おふくろう」人形★



あいのり仲間がひとつひとつ丁寧に
手作りした特別な人形です。

- ・当社のすべての商品（公募ファンド）がキャンペーン対象です。
 - ・すでに口座をお持ちの方もご紹介等で初めて購入される方も対象です。
 - ・毎月つみたてサービスを新規お申込みされた方、ご増額された方も対象です。
- ※現在のつみたて金額を変更せず継続される場合は、本キャンペーンの対象には含まれません。
★【ご希望される方に贈呈】数に限りがあるため、予定個数を超えた場合は抽選となります。

浪花おふくろ文庫

設立20周年を記念し、地域の未来を担う子どもたちへ児童向け図書を寄贈いたしました。



寄贈した児童向け図書
(高砂市子育て支援センター様)



高砂市長様から送られた感謝状



浪花おふくろ20周年
特設サイト

寄贈先

- ・エコクリーンピアはりま様
- ・高砂市子育て支援センター様

毎月つみたてサービスに関わるスケジュールについて

シルバーウィークに伴い、10月分の金額変更/中止/再開の締切日が通常より早くなっております。ご注意ください。

① 9月分新規・口座変更締切日：8月3日（月）

⑤ 10月分新規・口座変更締切日：9月2日（水）

② 8月分引落日：8月5日（水）

⑥ 9月分引落日：9月7日（月）

③ 8月分約定（購入）日：8月18日（火）

⑦ 9月分約定（購入）日：9月17日（木）

④ 9月分金額変更/中止/再開締切日：8月25日（火）

⑧ 10月分金額変更/中止/再開締切日：9月17日（木）

2026年8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	①	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2026年9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。再開につきましては書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

ファンドのご購入について

現在、浪花おふくろ20周年キャンペーンを実施中です。

ファンド購入代金の振込先口座がご不明な場合は、
お客様サポート（お客様専用通話料無料ダイヤル：0800-5000-968）までお気軽にお問合せください。

詳しくは5ページのお知らせをご覧ください。

ファンドにかかわるリスク

当社ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありませぬ。

株式会社パリミキアセットマネジメント
お客様サポートチーム
（受付時間：平日9:00～17:00）
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
E-mail: support@pmam.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT